

# ICANNローマ会議概要報告

2004年4月14日 第9回ICANN報告会

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター 入交尚子

## 会議スケジュール

期間:2004/3/2~6 於:イタリア・ローマ

```
( 2/29~3/1にも組織によっては会合あり)
```

- 3/2 ccTLD 会合、政府諮問委員会(GAC)会合、 At-Large諮問委員会(ALAC)会合、 GNSO部会別会合
- 3/3 GNSOポリシー策定プロセス(PDP)ワークショップ、GNSO評議会、ccNSOメンバー会合、GAC会合
- 3/4 世界情報社会サミット(WSIS)ワークショップ
  - 一般討論会(Public Forum) 第1部
- 3/5 一般討論会(Public Forum) 第2部
- 3/6 理事会

# 今回の特色(1)

# Wait Listing Service (VeriSign提案によるドメイン 名予約サービス)導入をめぐっての議論

理事会での決議を前に、Public Forumでレジストラから の賛否両論が相次ぐ

## 会議直前のVeriSignによるICANN提訴の余波

- ICANNがVeriSignの新サービス導入を妨害するのは 独禁法違反/契約違反であるとして、2月26日に提訴
- Public Forumでも、この件を意識したやりとりが...

## 今回の特色(2)

## GNSOポリシー策定プロセス(PDP)ワークショップ

- ポリシー策定プロセス(PDP)対象の2トピックに関する ワークショップ
  - gTLDレジストリサービス変更の承認プロセス
  - Whoisにおけるプライバシー問題(タスクフォース1~3)
- あまり議論の進展はなく、情報共有 / 広報的意味合いが 強かった

## 世界情報社会サミット(WSIS)ワークショップ

- WSISにおけるインターネットガバナンス問題に関する 報告とパネルディスカッション
- 情報共有が目的

# 今回の特色(3)

## GNSO評議会チェアがICANNの意思決定プロセス について問題提起

- 単なる'Public Speaking'ではなく、データの収集・分析による 'Public Input'が必要
  - (Public ForumやワークショップがPublic-Speaking Eventになってしまっている)
- 複数の策定済みポリシーが実施にまで至っていない
- ・ポリシー実施状況の評価のためのプロセスを事前に規定 すべき

# 主な理事会決議(1)

#### 「.net」の後継レジストリ指名プロセス開始を承認

- ICANN-VeriSign間の.netレジストリ契約期限: 2005年6月30日
- その1年前(2004年6月30日)までに、ICANNは後継レジストリ 指名のためのオープンかつ透明な手続を採用する必要あり

#### ccNSO結成を承認

- 2004年3月1日、要件(各地域から4名以上、計30名のccTLD管理者が参加した時点で結成)を満たし、ccNSOが結成
- ・ 今後はICANN付属定款のccNSO規定改定作業へ

## 主な理事会決議(2)

# Wait Listing Service (WLS) 導入の諸条件に関するVeriSignとの交渉結果を承認

- 2002年8月以降、ICANN-VeriSign間で続いてきた WLS導入の条件交渉が成立
- ・ 米国商務省の承認後、WLS実施に向けてレジストリ 契約改定へ

# WLS解説(1):WLSとは?

- ■既に他者が登録しているドメイン名の削除 待ち予約サービス
- VeriSignが.com/.netへの導入を提案
- ■既存のレジストラレベルでの予約サービスとは異なり、確実に予約したドメイン名の入手が可能
- ■希望者はレジストラを通して予約(1年間)

## WLS解説(2):ICANNにおける経緯

【2001年12月】VeriSignがDNSOレジストラ部会にWLS提案を送付

【2002年3月】 VeriSignがICANNに対し、WLSの試験運用(1年間) のために.com/.netレジストリ契約の改定を要請 ICANN理事会はDNSOに検討を付託

【2002年7月】DNSOが勧告提出:「WLS導入要請は却下すべき」

【2002年8月】理事会は、6つの条件付きでWLS提案を承認 VeriSignが条件の再検討を要請

【2003年6月】理事会は、条件の一部修正を承認

~ ICANN-VeriSign間で条件について交渉 ~

【2004年3月】ローマ会議にて理事会が最終交渉結果を承認

## WLS解説(3):WLS導入の条件

- A) .com/.netへのRedemption Grace Period (削除済みドメイン名の請戻猶予期間)導入後、6ヶ月以上経過してから実施する
- B) レジストラレベルでのいかなる予約サービスに対しても優遇・除外しない
- C) レジストラがドメイン名削除に関する内部情報を利用できないようにする
- D) ドメイン名が予約された時点で現登録者へ通知する
- E) 12ヶ月の試験的導入とし、予約期間は1年間とする
- F) 消費者等への影響評価のためのプログラムを実施

## WLS解説(4):コミュニティの反応

## **人 反対派の意見**(小規模レジストラなどが中心)

「WLSは健全な競争を阻害し、VeriSignに不当な利益をもたらす」

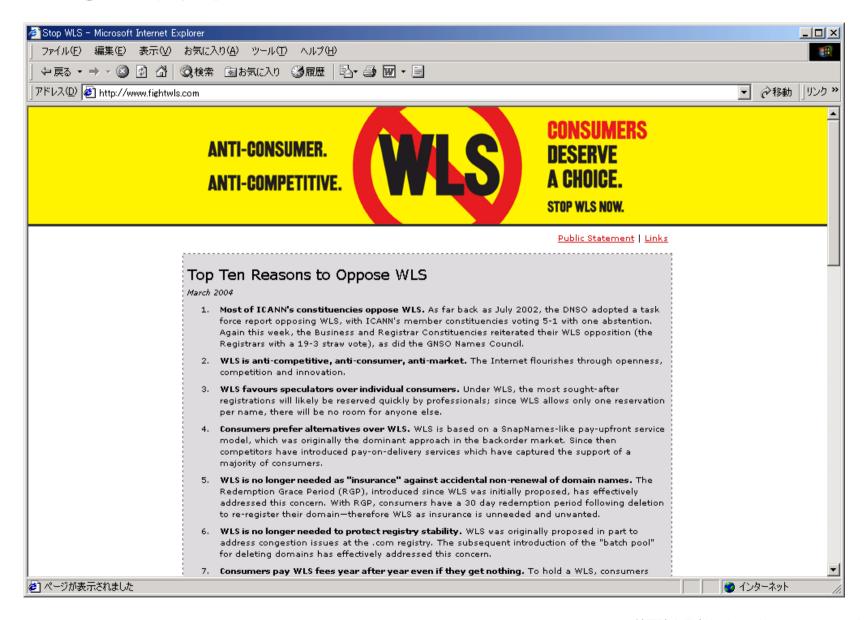
「消費者は、入手できる保証のないものに予約金を払い続けることになる」 など

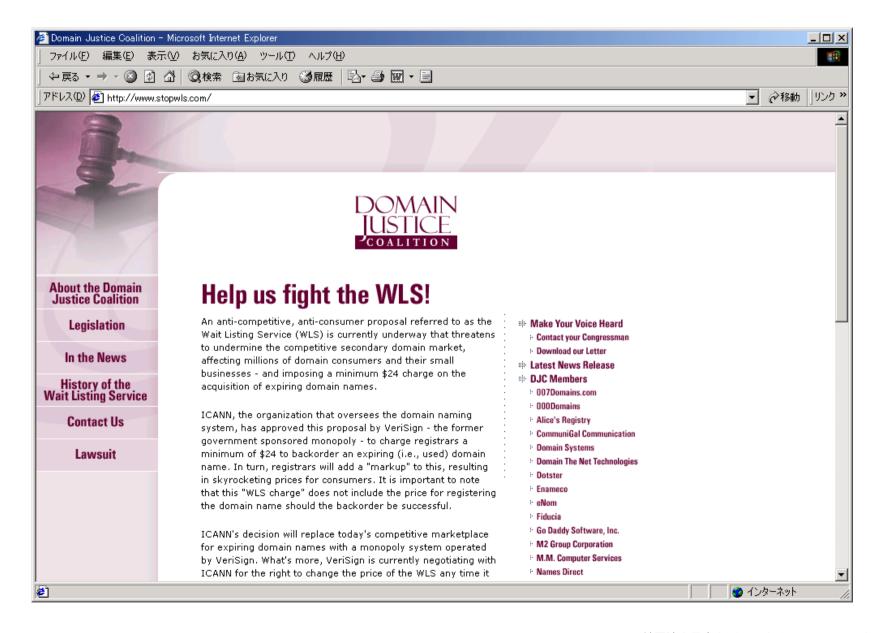
複数のレジストラ・リセラ等がICANNへ声明文を提出 対ICANN&VeriSign訴訟も数件発生

# <u>支持派の意見</u>(NSIなど)

「WLSは、ドメイン名の予約サービスとしてはクリアーかつ シンプルで信頼できる」 など

#### こんなサイトも...





## 今後のICANN会議予定

- ■クアラルンプール会議(マレーシア) 2004年7月19~23日
- ■ケープタウン会議(南アフリカ) 2004年12月1~5日
- ■2005年については詳細未定

4月(南米)

7月(ヨーロッパ)

12月(北米)